第 74 回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会 2025 三重大会開催報告

大会テーマ **「出会いはじまる常若のくに」** ～「集い、想い、継なぐ」三つの重なる明日への力～

８月 21 日(木)・22 日(金)に、三重県津市産業スポーツセンターで、第 74 回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会三重大会が開催されました。大会には、全国から約 6000 名、香川県からは 28 校 57 名が現地参加、３校がオンライン参加しました。高Ｐ連プランは１泊２日の旅程で歴史研修（伊勢神宮）を加えたコースで実施しました。フルプランで参加していただいた会員の方は 41 名でした。

大会１日目は、まず四日市商業高校ギター・マンドリン部の美しい演奏に迎えられた後、開会行事と表彰式が行われました。全国高Ｐ連会長表彰では、本県から前丸亀高校ＰＴＡ会長で前高Ｐ連副会長の神余智夫氏、前高松西高校会長で前高Ｐ連監事の山田士郎氏、前高Ｐ連事務局長の國木健司氏が個人表彰、高松桜井高校と高瀬高校の２校が団体表彰を受けられました。また、坂出第一高校が優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰を受賞されました。

開会行事での大会実行委員長あいさつ

その後、４つの会場に分かれて分科会がスタートし、それぞれ基調講演やパネルディスカッションなどが行われました。「子育て・そして親育ち」をテーマにした第１分科会では、２つの講演を通じて子育てや親の在り方について考えを深めることができました。第２分科会では「実力発揮のコツ」と題して無名公立高校２校を甲子園に導いた松葉健司氏の講演とミニディスカッションを通じて、子どもたちの能力を発揮させるためにどうすればよいか考えさせられました、第３分科会は「ＡＩ時代における Well―Being なキャリアデザイン」をテーマに講演とパネルディスカッションがあり、これからの時代におけるキャリアデザインの在り方の大きなヒントをいただきました。第４分科会は「Let's ＰＴＡ！」をテーマに、レモンさん（山本シュウさん）の講演があり、難しい時代を迎えているＰＴＡ活動にどのように取り組んでいくか、活動に対する疑問などに対して前向きな提言をいただき元気をもらえた時間でした。

高Ｐ連プラン参加者のみなさん（大会会場にて）

大会２日目には、ドラマ「高校生レストラン」のモデルとなった相可高校食物調理科の活動が動画で紹介されました。地域を担い、世界で活躍する食のプロフェッショナルを目指す生徒たちの一生懸命な姿に感動しました。

記念講演は、「尊厳は明日の力」～壁を開ける手中の鍵～と題して、井村屋グループ株式会社会長兼 CEO の中島伸子氏のお話がありました。北陸トンネル列車火災事故で、同席していた人から避難を託された子どもの命を助けられなかった後悔と無念、事故の影響で教師への夢が破れた喪失感で「どう生きていくか」悩み苦しんだ日々の中、「『辛』に一を足せば、『幸』の文字になる」という父の一言に救われた」ことを明かされ、「『プラス１』の生き方は今でも私を助ける信条となっている」と語られました。社員家族からの手紙などを紹介し「会社の存続と人の成長、幸せを伴走させることが経営者の仕事。１人の１００歩より１００人の１歩」などと自身の信念を提示されました。

来年度開催県（大分県）のＰＲ

閉会行事では、大会実行委員長から参加の皆様に感謝の言葉が述べられ、次期開催地の大分県へ全国高Ｐ連旗が引き継がれました。